

令和7年度から スタートする独自教科



「おおたの未来づくり」について



児童考案
おおたの未来づくり
キャラクター



児童館案ロゴマーク

令和6年*月*日(＊)
大田区教育委員会

1 区独自教科の目的

教育ビジョンの1丁目1番地1号
区独自教科「おおたの未来づくり」



第4期大田区教育振興基本計画
令和6(2024)年度～令和10(2028)年度

理念
笑顔とあたたかさあふれる未来を創り出す力を育てます

基本方針1
持続可能な未来を創り出す
グローバルな人を育成します

個別目標1
学習意欲と主体的な学習態度を
積極的に引き出す力を育成します

基本方針2
一人ひとりの可能性と
個性を伸ばすための
環境となる力を育成します

個別目標2
学習意欲と主体的な学習態度を
積極的に引き出す力を育成します

基本方針3
持続可能な未来を創り出す
グローバルな人を育成します

個別目標3
学習意欲と主体的な学習態度を
積極的に引き出す力を育成します

2 育成を目指す資質・能力



予測困難な時代 笑顔とあたたかさあふれる未来を創り出す力
育成の力ギ: 実社会の課題解決に取り組む教科等横断的な学び

3 教科の内容

地域の特色を生かして各学校で教材化
「ものづくり」と「地域の創生」にチャレンジ



大田区の多様な特色



教科等横断的な学習

おおたの未来づくりの内容

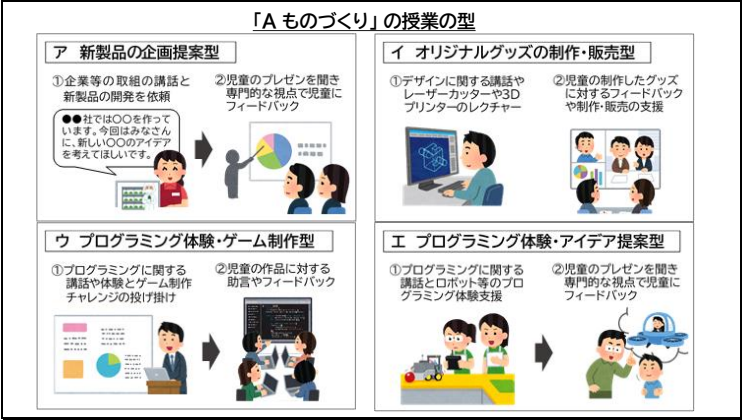
地域の社会や人々の「Well-being」につながる

新たなものを創造する
A ものづくり

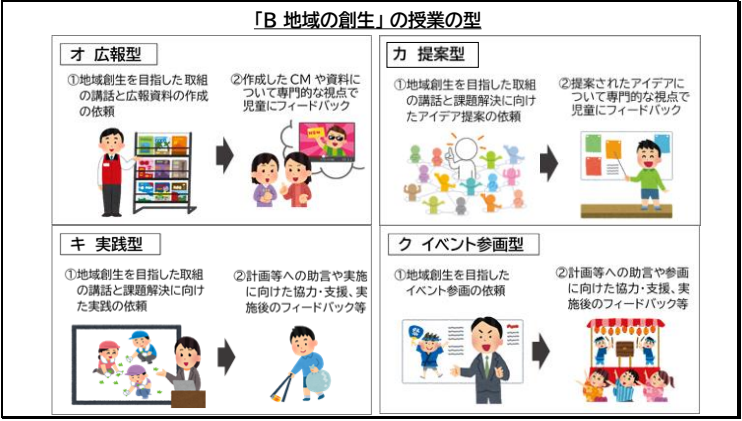
新たな取組を創造する
B 地域の創生

A B の共通事項
ICTの活用とプログラムによる制御

- ① 区独自教科の目的
- 今年度、教育委員会は、令和6年度から令和10年度までの大田区の教育の方針を示した『おおた教育ビジョン』を策定しました。教科「おおたの未来づくり」は、このビジョンの「基本方針1」の「個別目標1」の施策(1)に位置付けられており、本ビジョンの理念である「笑顔とあたたかさあふれる未来を創り出す力」の育成をダイレクトに推進していくことを目的としています。
- ② 育成を目指す資質・能力
- 現在、そしてこれからの時代は、予測困難な時代と言われています。そのような険しい未来の山をこの若い燕のように力強く飛び越えていけるようにするためには、スライド示した力を付けていくことが極めて重要であると考えています。このような力がビジョンの理念である「笑顔とあたたかさあふれる未来を創り出す力」です。そしてその力を育成する力ギは、教科等の学習を基盤として、実社会の課題解決に取り組む教科等横断的な学びであると考えています。
- ③ 教科の内容
- 教科「おおたの未来づくり」では、都内1位の工場数を誇る「ものづくりのまち」、乗客数日本一を誇る「羽田空港を要する国際都市」、都内で一番多い商店街など、大田区の多様な特色を各学校が教科等横断的な学習の視点で教材化し、児童が「Aものづくり」と「B地域の創生」の両方にチャレンジします。



例えば、「ものづくり」であれば、新製品の企画提案や、オリジナルグッズの制作・販売、プログラミング体験とゲーム制作やアイデア提案などの授業が考えられます。



また、「地域の創生」では、地域の取組の広報、地域の取組に対する提案、地域のための取組の実践、地域イベントへの参画などに取り組む授業が考えられます。

4 授業のコマ数

国語	お・未
社会	算数

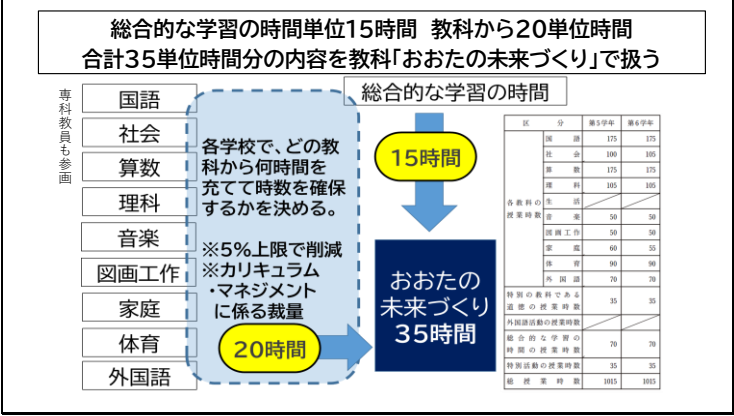
1つの教科として

週1コマ

年間35単位時間

④ 授業のコマ数

教科「おおたの未来づくり」は、文部科学省から独自の教科としての認可を受けて年間35単位時間、週当たり1コマで実施します。スライドのように令和7年度から時間割の中に「おおたの未来づくり」が1コマ入ります。



1コマの授業を増やしますが、全体の授業時数が増えるというわけではありません。教科「おおたの未来づくり」の授業時数35時間は、総合的な学習の時間から20単位時間、週1コマの教科以外の教科から20単位時間、合計35単位時間分を教科等横断的な内容として「おおたの未来づくり」の授業で扱います。



⑤ ポータルサイトの開設

インターネットで「おおたの未来づくり」と検索すると、教育長からのメッセージや、教科の概要等の動画を視聴することができます。

児童にとって心から楽しいと感じて夢中になって取り組める学び、未来に向かって様々な人と力を合わせて取り組む学びを実現する教科になるようにしてまいります。